

class A', B' もあり, ことに中節骨に対しては4つの type に分けられ, このうち type IVはさらに A: Extensor の表面のハクリ骨折, B: Volar Plate のハクリ骨折, C: collateral lig のハクリ骨折にわけられ, ことに type IV: B は Wilson's fracture といわれている。今回, 外来にてしばしば経験する class B' type IV の型の PIP 関節内骨折の follow up が行えた14症例について検討を行ったので報告する。

21. 手根管症候群の治療

— 一手関節部小切開による横手根靭帯皮下切離法について —

今井克己, 渡部恒夫 (千大)
保坂瑛一 (鹿島労災)
堂後昭彦, 伊藤 豊 (川鉄)

我々は, 手根管症候群の手術治療に, middle volar wrist crease に沿う約2cmの横切開を用いた。横手根靭帯の皮下切離法を考案した。局所解剖や手技に十分注意して行なえば, 重要組織の損傷や靭帯の不完全切離を防止しようと考える。本法施行後, 6カ月以上経過した8手のうち7手に満足すべき結果を得た。手根管内手術操作を必要とする例を除き, 侵襲が少なく術後癒痕形成のない本法は, 価値ある一術式と考える。

22. 下腿骨骨折に対するエンダー釘固定の小経験

佐藤 優, 松原 保, 円井芳晴,
武内重樹 (沼津市立)

私達は最近, 下腿骨骨折5症例に対し, 手術は透視下に膝蓋靭帯内外側より2本のピンを内果及び脛腓関節面にむけ刺入する方法を用いた。術後1例にピンの逸脱をみた他は, 偽関節・変形治癒等みられず, 良好な成績を得た。本法は手術手技が簡単, 早期運動・早期荷重が可能といった利点をもつ。今後, 骨折部位によりピンの刺入部位・刺入方向・刺入本数等工夫すれば適応範囲はかなり広がるものと思われる。

23. Microvascular Surgery と組織移植

— 四肢外科への応用 —

伊藤 豊, 堂後昭彦 (川鉄)
渡部恒夫, 今井克己 (千大)

我々は1976年手関節部完全切断再接着成功以来, 現在まで Replantation 19例, Free groin flap 5例, Free musculocutaneous flap 1例, Free dorsalis pedis flap 4例, Free lateral thoracic flap 1例, Free vascularized bone graft 3例, Free toe-to-hand transfer 1

例, Free omentum graft 1例の計35症例を経験した。これらの経験より, Microvascular surgery の四肢への応用について代表症例を供覧し, 考察を加えた。

24. 小児上腕骨顆上骨折の治療成績

平松健一, 鍋島和夫, 岡崎壮之,
堂後昭彦, 伊藤 豊 (川鉄)

川鉄病院開院以来の, 小児上腕骨顆上骨折52例の治療成績をまとめ, 若干の知見を得た。

側方, 後方, 及び軽度の回旋転位は, 発育により矯正される事がわかった。反面, 軸に対する傾斜, すなわち, 内反, 外反変形や, 前凸, 後凸変形は, 発育によっても矯正されない事がわかった。

我々は整復の困難な症例に対し, K-wire を経皮的に骨折部に刺入し, てこの応用により整復を可能としている。

25. 上腕骨骨幹部骨折の保存的療法について

高野正一, 渡辺英詩 (渡辺整形外科)

過去2年間, 当院にて保存的に加療した上腕骨々幹部骨折15例中, Functional Brace を用いて加療した症例は8例であった。Functional Bracing は骨折部の強固な固定を主眼とした従来の骨折の治療法と異なり, 生理的状态での骨癒合促進を計るもので, 患者の負担が少なく, 関節拘縮を生じにくく, 症例を選べば秀れた治療法と考えられる。ただし, 挫滅の著しい症例, 老人の骨折等においては, 慎重に行なわれるべきである。

26. 当院における肩関節疾患の検討

雄賀多 聡, 坂巻 皓, 黒田重史,
保坂瑛一, 松岡 明 (鹿島労災)

当院開院後1年5ヶ月の期間に当科を受診した肩関節疾患患者は男性141名, 女性119名の計260名であり, 肩関節周囲炎149名, 腱板断裂60名, 動揺性肩関節23名であった。

それぞれの患者群を男女別, 年代別に検討し, 周囲炎及び腱板断裂をその病態の特徴より, さらに分類を行った。

開院以来の手術例数は14例, 腱板修復術が10例, そのうちマクローリン法が6例, 側々縫合が4例であった。また肩甲骨白蓋骨切り術が3例, 肩関節全置換術が1例であった。

27. 手関節部 Verdan 7, 8 領域損傷の治療例

堀井文千代, 望月真人 (国立静岡)